

衆議院環境委員会経済産業委員会連合審査会ニュース

平成 24. 6. 8 第 180 回国会第 1 号

6 月 8 日（金）第 1 回の連合審査会が開かれました。

- 1 原子力の安全の確保に関する組織及び制度を改革するための環境省設置法等の一部を改正する法律案(内閣提出第 11 号)
原子力安全調査委員会設置法案(内閣提出第 12 号)
地方自治法第 156 条第 4 項の規定に基づき、産業保安監督部及び那覇産業保安監督事務所並びに産業保安監督部の支部並びに産業保安監督署の設置に関し承認を求めるの件(内閣提出、承認第 1 号)
原子力規制委員会設置法案(塩崎恭久君外 3 名提出、衆法第 10 号)
- ・枝野経済産業大臣、細野国務大臣(原発事故の収束及び再発防止担当)及び政府参考人並びに提出者塩崎恭久君(自民)、吉野正芳君(自民)、柴山昌彦君(自民)及び江田康幸君(公明)並びに参考人に対し質疑を行いました。
- (参考人) 原子力安全委員会委員長 班目春樹君
原子力委員会委員長 近藤駿介君

(質疑者及び主な質疑内容)

空本誠喜君(民主)

- ・新しい原子力安全規制組織による規制の円滑な導入のため、米国の原子力規制委員会(NRC)を参考に、一般制度以外の異議申し立て及び不服審判制度等を検討して司法面の充実を図る必要性について、細野国務大臣及び原子力規制委員会設置法案(以下「自公案」という。)提出者の見解を伺いたい。
- ・福島第一原発事故への政府の対応の反省を踏まえた新しい原子力安全規制組織の体制及び人材育成の在り方について、細野国務大臣及び自公案提出者の見解を伺いたい。

佐藤茂樹君(公明)

- ・自公案において、原子力規制委員会の委員長及び委員の中立性を確保するためにどのような工夫がなされているのか、自公案提出者に伺いたい。
- ・原子力事業者の従業員等の公益通報制度の意義及び実効性を確保する必要性について、細野国務大臣及び自公案提出者の見解を伺いたい。
- ・平時のオフサイト対策を推進する主体と事務局体制をどのように想定しているのか、細野国務大臣及び自公案提出者の見解を伺いたい。

梶山弘志君(自民)

- ・平時のオフサイト対策の所管を原子力規制委員会とする自公案及び環境大臣とする政府案のそれぞれについて、自公案提出者及び細野国務大臣の見解を伺いたい。
- ・専門家である原子力規制委員会の判断を政治家である原

子力災害対策本部長である内閣総理大臣が覆すことの妥当性及びその可能性について、細野国務大臣及び自公案提出者の見解を伺いたい。

- ・自公案における原子力規制庁の内部組織や迅速かつ適切な事故対応のための原子力規制委員会の行動指針及び内部規範についての具体的なイメージについて、自公案提出者に伺いたい。

吉野正芳君(自民)

- ・平成 5 年 6 月の原子力安全委員会の報告書において、東京電力が作成した全電源喪失対策は不要との文書を反映させて安全指針の改定が見送られた理由について、班目原子力安全委員会委員長に伺いたい。
- ・原子力規制庁が原子力災害対策本部の事務局を担う政府案は、一般災害と原子力災害の両方の対応が合理的とする原子力安全委員会の中間とりまとめに反する上、規制機関の独立性を求めている IAEA の安全基準にも反していると考えますが、細野国務大臣の見解を伺いたい。
- ・政府案で原子力規制庁による規制が不当に歪められるのを排除するために原子力安全調査委員会を設置することは、原子力規制庁には独立性がないことの証明ではないかと考えるが、細野国務大臣の見解を伺いたい。

山本剛正君(民主)

- ・関西電力大飯原子力発電所 3、4 号機について、ストレステストを始めとした種々の安全対策により、安全性が確認されているにもかかわらず、再稼働を判断できない理由について、枝野経済産業大臣の見解を聞きたい。

- ・原子力発電所は、停止中であっても使用済核燃料が存在している限り、リスクを内包していること及び長期にわたる停止により、運転に関する技術を持つ人材が不足するおそれがあることについて、枝野経済産業大臣に伺いたい。
- ・原子力発電所の再稼働に当たっては、最も技術的な分析や知見に裏付けられている、立地自治体の意見を尊重すべきであると考えますが、枝野経済産業大臣の見解を伺いたい。

吉井英勝君（共産）

- ・米国で発生した原発事故から教訓を得ようとしなかったために、我が国で同じ要因の原発事故を引き起こしてきたと認識しているが、政府の見解を伺いたい。
- ・原子カムラでは、国は原子力事業者に、事業者はプラントメーカーに、メーカーは下請けに丸投げする構図が常態化しており、この構図を変えない限り、新たな原子力安全規制組織を作っても何も変わらないのではないか、細野国務大臣の見解を伺いたい。

斎藤やすのり君（きづな）

- ・大飯原発を再稼働させる理由は何か。また、同原発の再稼働を急ぐ明確な理由について、細野国務大臣及び枝野経済産業大臣の所見を伺いたい。
- ・法案の審議中に原子力安全・保安院が美浜原発2号機に対して40年超の稼働を認める見通しとの報道があるが、その事実関係を枝野経済産業大臣に伺いたい。

柿澤未途君（みんな）

- ・慎重な原発再稼働を求める署名を提出した117名の民主党議員のみならず、他の党からも現時点での原発再稼働

には慎重な声が多いが、大飯原発の再稼働と民意との整合性は説明できるのか、枝野経済産業大臣に伺いたい。

- ・新原子力政策大綱策定会議におけるいわゆる「秘密会合」が報じられているが、このようなプロセスを経て作成された大綱は信頼性に乏しく白紙に戻し、この会合に関与した近藤原子力委員長は辞任すべきではないか。

阿部知子君（社民）

- ・委員の欠格事由について、政府も自公案と同様に考えるか。併せて、電力会社に所属していた者が大学教員になった後に委員になる場合も欠格事由に該当するのか、また、委員が国民の信頼を損ねた場合には罷免の対象となるのか、細野国務大臣及び自公案提出者に伺いたい。
- ・原子力委員会で秘密会議が開かれていたことが発覚し、国民の不信が高まっている。新体制では議事録を公表していくべきと考えるが、細野国務大臣及び自公案提出者に見解を伺いたい。

石川知裕君（大地）

- ・大飯原発の再稼働について、活断層があり危険であると新しい原子力安全規制組織が判断した場合にも再稼働をするのか、細野国務大臣及び自公案提出者に伺いたい。
- ・原発のテロ対策について、本年3月27日の核セキュリティーサミット以降、どのような対策強化を行ったのか、細野国務大臣に伺いたい。また、どのようなテロ対策を今後行うことを考えているのか、自公案提出者に伺いたい。